

コラム

腰折れ文〈二十四〉

渡邊澄子（会員）

今回は本欄の最終回です。

本欄の内容は、前回の擱筆後から今号執筆までの間の新聞（東京、朝日、琉球新報）、その他の購読機関紙・誌、雑誌、書籍などから問題視したい記事を切り抜き、コピーしておき、その中から私にとってアップトゥデートな問題を恣意的に選んでいるのだが、今回は問題多出の現況によって量が多すぎ、取捨選択に悩まされた。

6月23日は沖縄戦の悲劇を刻む「慰霊の日」だった。県民の4人に1人、中学生・女学生の約半数を惨死させた根幹は「教育勅語」の徹底教育にあるだろう。東京新聞は危うい現況をほとんど連日報道して警鐘をならしている。「一強与党やりたい放題」「安保法、共謀罪法…悪法成立 民主主義の危機」の検証等。「安倍政治の6

年半ファクトチェック」の連載開始で、早速「自民改憲条文案を点検」「森友・加計問題、忖度の疑念消えないまま」が載り、徹底追及課題として目を離せぬ欄。「税を追う」も健在だ。厚労省の関わる新薬の承認と薬価決定に携わる

医師・教授らに製薬業界が講演料や原稿料として支払った額の最高は1210万円という。医薬業界の自民党献金額の莫大さに連繫するが、そのツケは患者になる国民がかぶる。貧富の格差拡大、福祉行政の貧困解消をよそにした五輪に私は反対だが、公費負担は予算大幅超過の620億円超で内容非公開。私の腹立ちは治まらぬが高価なチケット購入に「サイト殺到100万人待ち」は格差拡大の徴表だろうか。

年金二千、三千万円問題で非正規やアルバイトで生きる人たちへ

の無視に苛立っていたら非正規者の記事（東京）が出た。負のイメージの「非正規」を使うなど厚労省が指示した「非正規者（54歳）」の例として、年収150万円ほどで2か月ごとに契約更新、退職金なし。これで二千万円貯めろ？ 安倍政権下、非正規者は4割が実態とある。バイト生活者の実態検証を申し入れた。一般国民にとって年金は命の綱だが、麻生氏にとっては年金など関心外らしい。この富裕さは税金・地位から？ 四十年以上必死に働いた私の年金は生活できぬ額だ。

以下、それぞれ論文にしたいたいほどの問題だが、箇条書き的に順不同に羅列する。40〜64歳の中高年のひきこもりの人が全国に61・3万人いるという。元次官の一人息子の殺害事件も、自殺に大勢を共連れた事件も悲惨すぎて言葉を失う。大根は政治の貧困にある。来日のトランプ氏接待は、破顔大笑のゴルフ、観客押しつけの升席で警官・SP100名超が守る相撲観戦、食事等の費用も税金だつ。さらに彼を喜ばせた手土産は兵器

の爆買いだ。これは言わねばならぬ。米国最新鋭戦闘機F35の147機に機体だけで1兆2000億円、イージスアショアの維持運用費を含めて4389億円、オスプレイ17機1700億円（整備費他に1機200億円加算）で「貢ぎ物」にカジノも入る。主権国の日本がなぜこれほど米国従属なのか。しかも訪日直前に臨界前核実験をしていることに抗議もせずのあの歓待ぶり。恥ずかしい。天安門事件はまだ終わっていないが、キーワード「自由」の新世代中心の103万人、200万人、さらに撤廃まで闘つという香港デモには感動で心が震えた。なお「#KuToo」運動にも見られる女性問題ほか、ああとつしよう、言いたいこと、聞いていただきことがまだまだ沢山あるが枠は非情だ。

文字通りの拙文に2年間お付き合いくださいましたことに心より感謝します。また、お目にかかれましたら嬉しいです。ありがとうございました。皆様のご自愛を念じます。